

令和8年度 6年生 全国学力・学習状況調査における本校の結果について

令和8年4月に実施いたしました「全国学力・学習状況調査（5年生までの既習内容）」における本校の結果分析および考察がまとまりましたのでお知らせいたします。
これらの情報を分析し、日々の授業や児童指導をはじめとする教育活動の充実・向上に生かすことで、本校の児童のより一層の成長につなげていきます。

【国語科】

分類		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
				貴校	神奈川県 (公立)	全国 (公立)
全体			13	54	61	60.9
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	4	52.9	65.2	66.8
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	51.1	53.3	52.3
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0			
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	63.9	66.9	65.8
		B 書くこと	2	42.6	46.3	45.7
		C 読むこと	2	53.7	66.2	65.9

<成果>
「話す・聞く」に関する領域では、提示された資料を有効に活用しながら、自分の考えが相手に伝わるよう表現を工夫する力の一定の定着が見られました。

<課題>
「読むこと」に関する領域では、文章の読解問題において課題が見られます。また、言語事項（知識）において個々の漢字の読み書きや意味理解の定着に課題が残りました。

<改善に向けて>
「読むこと」では、朝学習や学校図書館、ICT機器を活用して、本と関わる機会を増やします。内容をまとめる際は、例や視点を示し、目的に応じて適切に整理・記述する力を育むことができるよう指導していきます。
「漢字」では、当該漢字を使った言葉集めや、短文作りを行います。文章表現で実際に生かせる定着を図っていきます。

【算数科】

分類		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
				貴校	神奈川県 (公立)	全国 (公立)
全体			16	52	58	56.4
学習指導要領の領域	A 数と計算		8	54.9	62.6	61.1
	B 図形		4	58.7	57.0	55.3
	C 測定		1	75.8	79.7	78.1
	C 変化と関係		3	35.1	44.2	41.1
	D データの活用		4	42.4	49.4	48.6

<成果>
「図形」に関する領域では、図形の性質や公式の理解、空間的な捉え方の基礎の定着が見られました。

<課題>
「数と計算」および「変化と関係」に関する領域では、基礎的な計算だけでなく、問題場面における意味の理解や、データの規則性を分析する力に課題が見られました。

<改善に向けて>
朝学習や授業で既習内容の確認を丁寧に行い、見通しをもった学習を展開します。単なる計算演習にとどまらず、式が表す問題場면을捉えさせて解決へ導きます。また、表やグラフから数量の規則性を読み取り、考えを伝え合う活動を設定して、思考・表現・表現力等の力を育むことができるよう指導していきます。